

---

## IBM Cloud Storage Solutions for i バックアップ検証

---

物理媒体(LTOテープやRDX)へのバックアップまたは、仮想テープライブラリー((Protectier、DataDomain、StoreOnce など、以下 VTL にて略) へのバックアップなどありますが、IBM が提供するクラウドバックアップ (**IBM Cloud Storage Solutions for i**) をイグアスに於いて検証を行いました。

---

### 検証目的

---

最近では ProtecTIER や DataDomain や StoreOnce が後継 VTL 製品が高価なものへの切り替えやサポート体制の縮小などでお困りのお客様が増えてきています。

改めて IBM が提供するクラウドバックアップ (**IBM Cloud Storage Solutions for i**) を検証します。

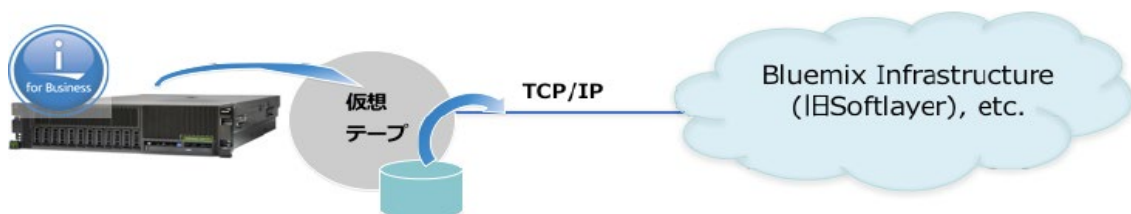
**IBM Cloud Storage Solutions for i** での検証項目を以下に記載致します。

- ① IBM i 同志の FTP バックアップコマンド検証
- ② IBM Cloud への FTP バックアップコマンド検証
- ③ IBM Cloud への SLR バックアップコマンド検証
- ④ IBM Cloud への BRMS バックアップコマンド検証

上記内容にて検証を実施致しました。

ポイント：

- ・ IBM i 7.1 以上で、IBM Cloud Storage Solution for i (5733-ICC)の V1.2 以上
- ・ 事前に IBM Cloud (旧 Bulumix、旧 SoftLayer) の契約があること。
- ・ 仮想テープ装置の仕様の為、1 TB 以下のバックアップデータであること。
- ・ BRMS 連携の場合、有償ライセンス : 5770-BR1 が必要。



## IBM Cloud Storage Solutions for i 検証環境概要

### 使用したハード/ソフト

サーバ装置	:	Power S814(1台)の LPAR 区画	バックアップ対象
クラウド環境	:	IBM Cloud	(ライトアカウント)
IBM i 環境	:	IBM i の OS 標準機能で利用 (今回は IBM i 7.3)	
	:	BRMS (57xx-BR1)の有償ライセンス利用	(70日試用版)

---

### 検証結果

---

#### 別リンク参照 :

[https://www7.i-guazu.co.jp/product/ibmhardware/power\\_systems\\_ibmi/feature/tech/report/201708\\_IBM\\_Cloud\\_Storage\\_Solutions\\_for\\_i](https://www7.i-guazu.co.jp/product/ibmhardware/power_systems_ibmi/feature/tech/report/201708_IBM_Cloud_Storage_Solutions_for_i)

---

### 検証結果より考察

---

仮想テープ装置にバックアップし、イメージカタログに出力します。出力されたイメージファイルをクラウド上に転送する処理イメージです。 ということは、仮想テープ装置とイメージカタログの ADDIMGCLGE コマンドにてマッピングが必要になります。 よって、物理テープや VTL とは異なり、そのまま IBM i へ直接復元ができません。(D-IPL 不可)

用途としては、システムフルバックアップは別途検討し、大事なデータなど日々BRMSでバックアップ運用を行われているお客様であれば提案可能と考えます。